

別子校区まちづくり集会 開催結果報告書

開催日時 平成22年8月1日(日) 13:00~15:00
場 所 別子山公民館
参加者数 男 41人 女 13人 合計 54人



1. 新居浜市連合自治会設定共通課題

課題名 独居老人の在宅福祉サービスについて

(質問)

- ①別子山地域内で一人暮らしをしているお年寄りが安心・安全に生活をしていくためのシステムづくりについて検討願いたい。また、現在整備されている緊急通報システムでは、急病時などで連絡用のボタンに手が届かない場合、非常用ボタンを常に携帯できる方法について検討願いたい。
- ②現在発達している技術でボタンを押すなどしなくても安否が確認できる方法が無いでしょうか。

(回答 市長)

- ① 市では、安否確認が必要と認められるひとり暮らしの高齢者宅に緊急通報装置を設置しています。この装置は、非常ボタンを押すことにより第一通報先(市の委託契約事業者)を経由して、あらかじめ登録している地域内の第2・第3の通報先に連絡されるものです。なお、この装置は、本体から離れたところからでも、携帯用ペンダントのボタンを押すことにより通報先に連絡ができる。別子山地域では、7台設置されている。

②ペンダント式は、家の中や可能かもしれないが屋外であれば、携帯電話等が考えられます。また、情報技術では、電話回線を使った（ポット・電気メーター）があると聞いております。新居浜市では、大島地区が安否確認のため住民が旗を挙げている。また、平常時から見守り推進委員が民生児童委員等と連携・協力を図りながら行っている。ひとり暮らし高齢者の見守り事業があります。今後とも、地域での見守りなど合わせ、緊急時にも役立ち、高齢者が安心して生活できる体制づくりを検討してまいります。

2. 校区設定共通課題

課題名 地域バスの利便性向上について

(質問内容)

- ①新居浜線においては昼過ぎに市街地を出発して別子山に帰れる便の設定ができないか。
- ②国中央線の方は、六つ塚、生吉など中央5丁目停留所より手前の停留所でも乗り降りできるようにできないか。
- ③四国中央線の運行が始まり3カ月程度経ているので要望等を考慮し見直しはできないか。

(回答 市長)

- ① 通院や通学、買い物など、新居浜市街地での用事が、午前中に終わった場合などは、夕方まで帰りの便がなく、家に帰る時間も遅くなるとのことで、不便をかけている。この問題を解決するためには、昼の便を1便追加し、3便体制にすることが考えられる。1便増となると、新たなバスの確保や運行业務委託料の増額など、予算的な問題がある。高校の選択範囲がより広がるような朝の便の時間調整等の問題もあることから、地域の声も聞きながら、検討させていただきたい。
- ②四国中央市方面地域バスの市街地の停留所の位置については、限られた運行時間の中で、主に病院、通学及び買い物などに不便をかけないように設定している。今回要望の三島警察署から、高速道路アンダーまでの六つ塚、停留所、生吉停留所での乗降については、交通事故の未然防止及び地域バスの安全運行を確保する観点から、新たな地域バスの停留所として、四国運輸局への正式な手続きが必要となる。また、現在の運行ダイヤでは、折り返し運転の際の余裕時間が8分程度しかなく、停留所の増加に伴い、朝夕のラッシュ時等には、ダイヤ通りの運行が難しくなるなどの影響が懸念されることから、もう少し詳細な検討をさせていただきたい。
- ③3～4ヶ月の実績で停留所の見直しを行うことができない。

3. 地域課題

課題名 別子山地区における光ファイバーケーブルの利用について

(質問内容)

- ①NHKに承認されていない蔭地共聴組合の施設の管理運営や修繕等について組合の負担で行っており、将来的な不安を感じている。
- ② NHKに承認された施設になるように、市から働きかけていただきたい。
- ③ ブロードバンド環境計画の中で光ファイバーを利用して蔭地共聴組合員がテレビを見られる環境整備ができないか。
- ④ NTTの光ファイバーをTVに利用することはできないか。

(回答)

- ①自主共聴施設の維持管理については、市内統一的に自己管理をお願いしている。
- ②NHKに確認する。
- ③国の交付金を受けて延長を予定している光ファイバーケーブルは、インターネット通信用のブロードバンド専用線であり、現在、保土野まできているテレビ用の光ファイバーケーブルとは異なる回線のため、この回線を使用してテレビ視聴に利用する整備は困難である。
なお、国の交付金を受けて進めている、別子山地区ブロードバンド環境の整備は、国の事業費減額等により、光ファイバーケーブルは瓜生野、肉淵までとなり、他地域は衛星ブロードバンドとなる予定である。
- ④放送、通信は厳格に区分されているので無理である。

課題名 瓜生野地区へ防火水槽の建設について

(質問内容)

瓜生野地区は、防火水槽10トンが整備されているが、容量が小さく、消火作業の際には間に合わない状態である。とりわけ、瓜生野地区は、今年、新たに活性化住宅4戸が建設されるなど、家屋が増加し、集落化していることから、緊急時のための大きな防火水槽40トンを建設してほしい。

(回答)

防火水槽には、給水バルブ設置されており、また付近に消火栓が設置されておりますことから、火災時に対応可能であると考えております。40トン防火水槽の建設につきましては、水槽用地の確保などの課題がありますことから、困難ではありますが、防火水槽の更新時に容量拡大を図りたいと考えております。

課題名 県道47号線の環境整備について

(質問内容)

①県道47号線は、順次改良が進んでいるが、一部未改良区間（大野谷付近～日浦）が残されており、幅員が狭く離合する場所が少ないため、小さな車でも離合に支障をきたしている。青龍大橋の完成により観光客も増加していることから、愛媛県に早期改良を要請していただきたい。また、21年度要望していた日浦から東側については、側溝だけでも実施して欲しいので強く要望して頂きたい。

②大永山トンネル付近は濃霧で視界が5m以下になることも多く、そのようなとき白線目印となり安全が確保されている。現在この白線が消えかかって非常に危険であるので、白線の引き直しについて県に要請していただきたい。

(回答)

①東予地方局からは、現在、平成23年度までの予定で下七番工区の改良を進めており、日浦工区（大野谷付近～日浦）についても引き続き早期着手を目指して要望していくとの回答でありました。

②大永山トンネルからつづら折れ間の白線につきましては、愛媛県東予地方局からは、部分的な道路改良事業、舗装改良事業を実施した区間について、平成21年度区画線を引いたとのことでした。

しかしながら、ご要望区間を単年度で施工することは、県の財政状況も非常に厳しいことから不可能であるため、今年度については、部分的な施工となりますが、道路線形が複雑で特に危険と思われる個所を優先的に、施工していくとの回答でした。

4 その他

(質問内容) 成の運動公園の有効利用について

成地域は、夏のキャンプ客が多く訪れるが地域内の道が狭いうえ駐車場がなく交流人口の増加に対応できていない。このため、現在、使用頻度の少ない運動公園を地域で有効に利用することは出来ないでしょうか。

(回答)

今年まで指定管理制度であったが指定管理をはずして、制約があるかもしれないが、地域の人が有効に活用できるよう検討していきたい。